

バージョンアップガイド

[2025の新機能]

2025 年 7 月リリース版

目次

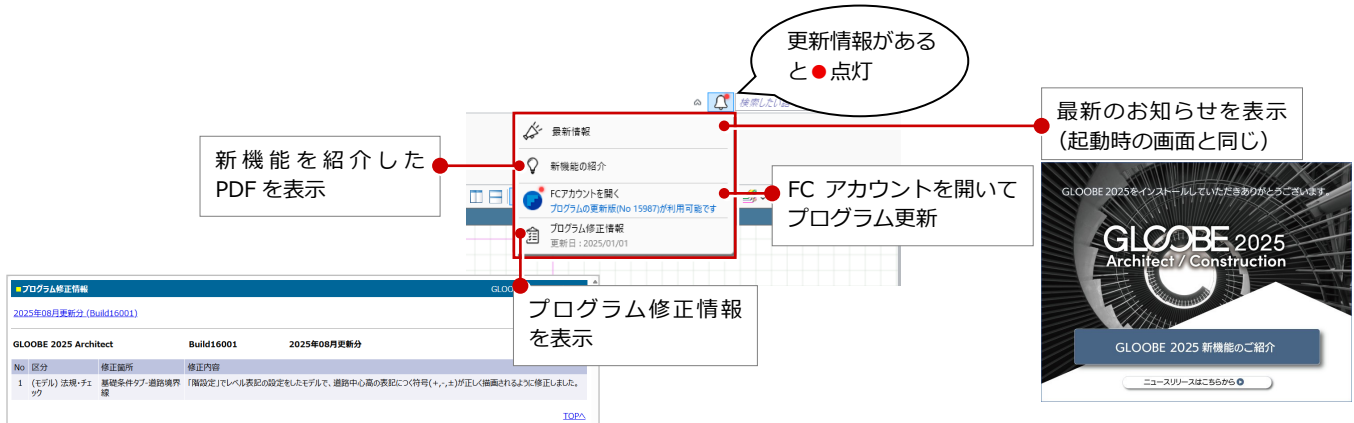
GLOOBE 2025 Architect の新機能 2025年7月リリース版

共通機能	3
お知らせ機能	3
GLOOBE WebViewer出力	3
連携強化	4
PLATEAU連携	4
STB連携	4
IFC読み込み	4
Revitエクスポート	4
法規	5
省エネ計算シミュレーション対応	5
防火規制の法改正対応	6
確認申請	7
敷地求積用のまるめ設定	7
敷地面積求積図・計算表	7
既存改良	8
仕上表	8
凡例	10
レベルチェック	10

共通機能

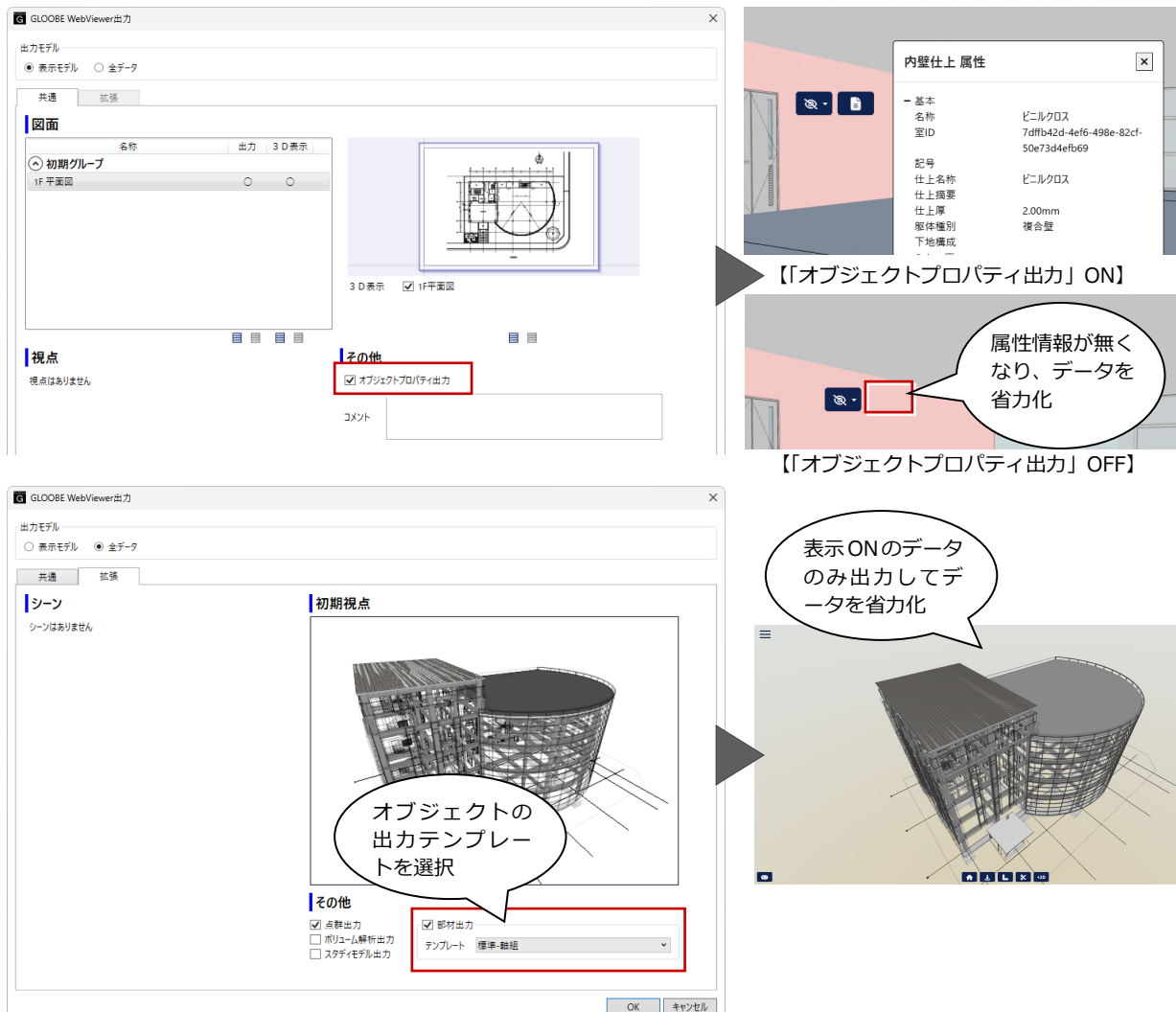
お知らせ機能

GLOOBE プログラム更新をお知らせする機能を追加しました。
バージョンアップ新機能や月ごとに出荷されるプログラムの修正内容を確認することが可能となります。



GLOOBE WebViewer 出力

プロパティ出力の ON/OFF、部材出力のテンプレート選択機能を追加しました。
出力するデータを抑えることで、GLOOBE WebViewer 上でストレスなく操作できるようになります。

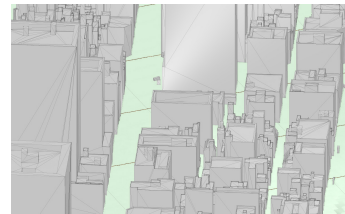
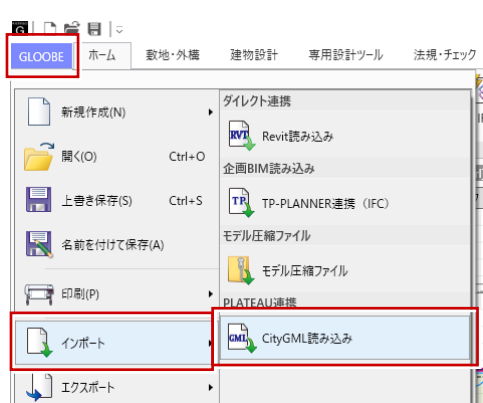


連携強化

PLATEAU 連携

国土交通省が推進している日本全国都市デジタルツイン実現プロジェクト「PLATEAU」が整備している 3D 都市モデルデータの CityGML ファイルの読み込みに対応しました。

3D 都市モデルを GLOOBE 上で再現し、周辺環境を確認しながら建物ボリュームの計画や日当たりのシミュレーションを行うことができます。



【「テクスチャを適用する」OFF
「景観地形を配置する」OFF】



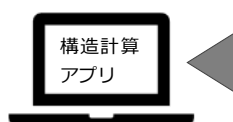
【「テクスチャを適用する」ON
「景観地形を配置する」ON】

※読み込む CityGML データによって「テクスチャを適用する」項目がでない場合があります。

STB 連携

一般社団法人 buildingSMART Japan の構造設計小委員会が策定した ST-Bridge 形式データのバージョン 2.0 を出力できるようにしました。

構造計算アプリとの連携の選択肢が増えます。



IFC 読み込み

ダイテック社製 CADWe'll Tfas との連携精度を向上しました。

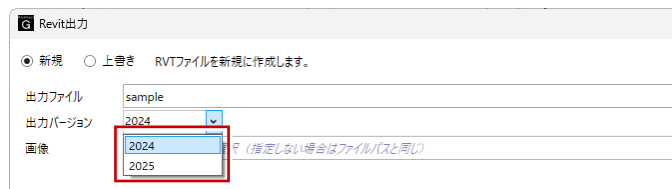
IfcCovering を汎用オブジェクトとして復元できるようにしました。

Tfas 設備オブジェクトの系統名・系統番号・用途等、詳細な情報や、今まで未対応であった 3D 形状を活用することができます。

Revit エクスポート

出力バージョンが選択 (2024/2025) できるようにしました。

旧 Revit バージョンへの出力が可能となり、連携の選択肢が増えます。



法規

省エネ計算シミュレーション対応

モデル建物法に準拠した省エネ計算シミュレーションに対応しました。建築研究所計算プログラムと同じ計算結果を取得できるようにしました。

設計初期段階での省エネに関する建物コストを把握でき、省エネを考慮した設計のシミュレーションを繰り返して行うことができます。

■入力シート

入力画面は、「非住宅建築物に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」の Excel シートと同じ構成です。

各シートで入力を行い、入力シートデータを作成していきます。

・「A 基本情報」シートでは、GLOOBE の入力された面積などを使う入力機能、非空調コア部の指定及び外周長さを付加できる機能があります。

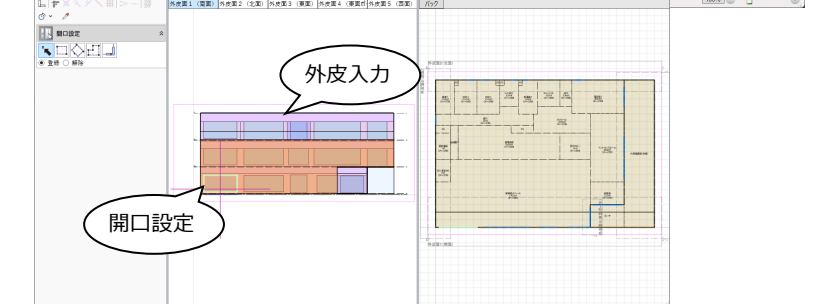
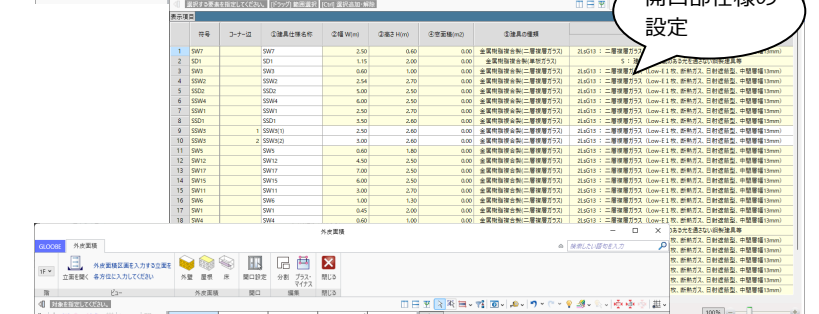
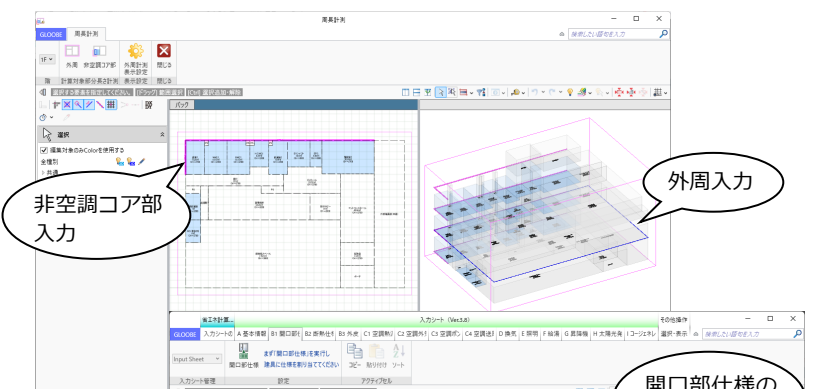
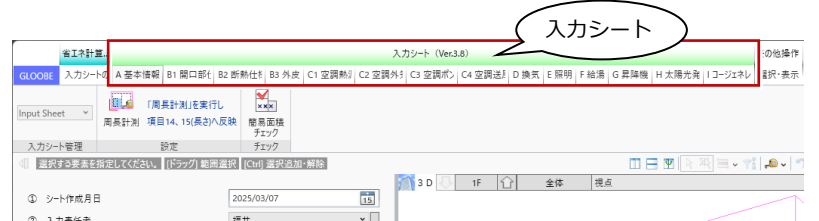
・「B1 開口部仕様」では、GLOOBE の入力された面積などを使う入力機能、非空調コア部の指定及び外周長さを付加できる機能があります。

・「B3 外皮」では、外皮を入力する機能、建具に外皮性能を付加する機能があります。

■計算結果

各シートで入力した内容をダイレクトに API 連携して、「非住宅建築物に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」(モデル建物法)による計算結果を取得し閲覧できます。

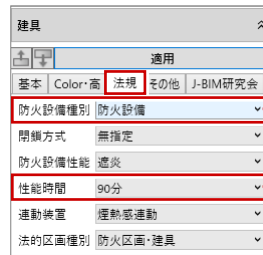
計算結果は PDF 形式で出力できます。



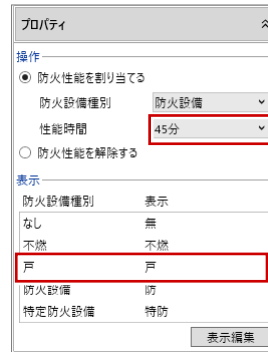
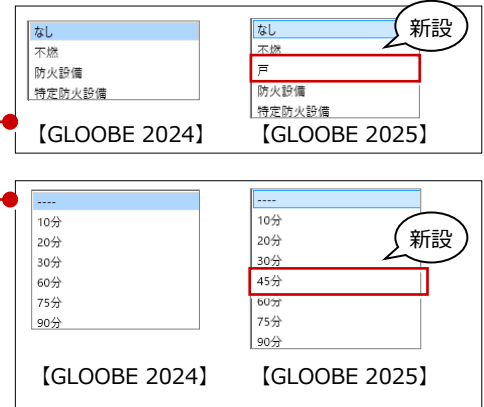
防火規制の法改正対応

「防火規制の合理化 等（令和 6 年 4 月 1 日施行）」の法改正に対応しました。

建具における「防火設備種別」に「戸」の追加と「性能時間」に「45 分」を追加しました。2025 年度からの BIM を活用した確認申請の試行開始に向けて、法改正に即した防火設備の設定が可能になります。



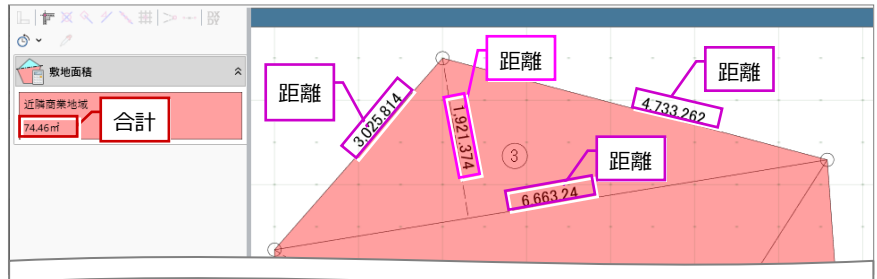
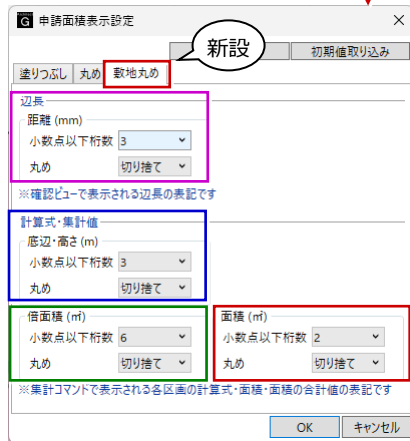
【建具プロパティ】



確認申請

敷地求積用のまるめ設定

敷地求積用のまるめ設定を追加しました。敷地の測量を請け負う会社に応じて、まるめを設定することが可能となります。



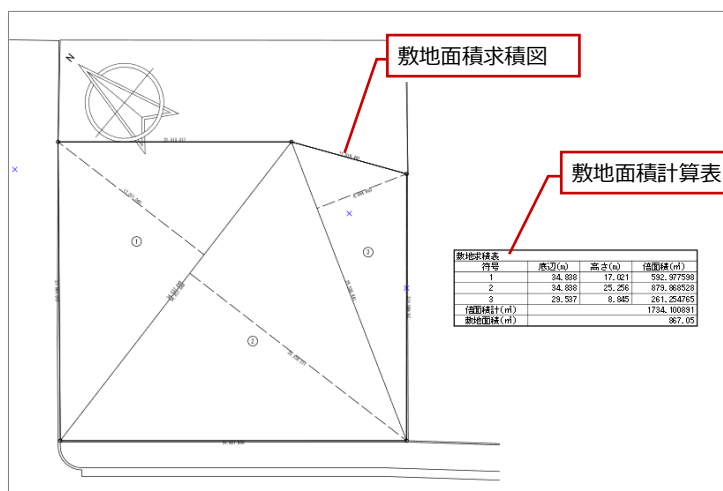
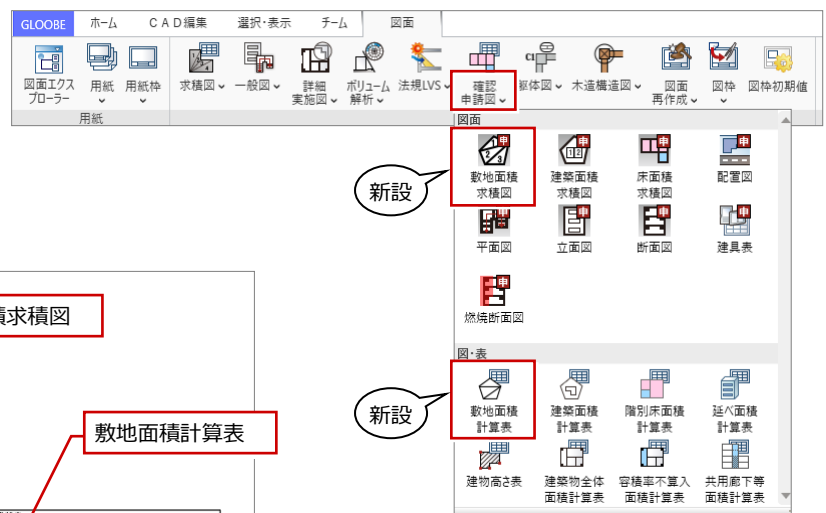
【モデル：法規チェック 「申請図面」 - 「敷地面積」】

敷地求積表	符号	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 (m²)
1		12.217	4.069	60.604056
2		12.217	6.663	12.799623
3		6.663	1.921	148.933654
倍面積計 (m²)				74.46
敷地面積 (m²)				

【図面作成・シート：「確認申請図」 - 「敷地面積計算表」】

敷地面積求積図・計算表

確認申請用の敷地面積求積図・計算表を追加しました。敷地求積用のまるめ設定に沿った図面・表を作成することが可能となります。



【図面作成・シート】

既存改良

仕上表

仕上表において、以下のような対応を行いました。これらの対応で、より実務に即した内部仕上表の作成が可能となります。

■ 壁種別の名称を任意表記できるようにしました。

モデル入力の「選択・表示」→「作図表現」、図面作成シートで仕上表を作成するときの「作図表現」で分類に「躯体種別名称」が追加されました。「任意文字を使用」を ON にすることで表記文字を設定できます。

OFF の場合は、「躯体種別」の文字列で表記します。

【ON の場合】

【OFF の場合】

【内部仕上表】

階	室名	床高 (FL)	天井高 (FL)	厚さ mm	下地	仕上
1F	EVシャフト	-50	2300	60	LGS	GB-S t=12.5
	WC	±0	2700	60	RC	GB-R t=12.5/6L工法
	WC (M)	±0	2700	60	LFW-75	同上
	WC (W)	±0	2700	60	RC	GB-S t=12.5/6L工法
	エントランスホール	±0	2700	60	RC	同上
	ホール	±0	2700	60	RC	天然木化粧合板
					LFW-75	同上
					RC	同上
					RC	同上
					RC	天然木化粧合板

■ 複合壁の層別名称を省略できるようにしました。

これまで、仕上表等で複合壁は層構成をそのまま作図していましたが、GLOOBE2025 では「複合壁構成」ダイアログに「構成名称」が追加され設定できるようになりました。

【GLOOBE 2025】

内部仕上計画 - 内部仕上表

内部仕上表

更新 閉じる

室記号	床高(mm)	天井高(mm)	内装制限	巾木		仕上
				断面寸法	躯体種別	
	FL±0.00	2300.00	不燃		LFW-75	不燃化粧合板
	FL±0.00	2700.00	不燃	1.2×60	LFW-75	ビニルクロス
	FL±0.00	2700.00	不燃	1.2×60	RC(150.00)	ビニルクロス
	FL±0.00	2700.00	不燃	1.2×60	RC(150.00)	ビニルクロス
	FL±0.00	3200.00	不燃	9×60	LFW-75	天然木化粧合板

【専用設計ツール：内部仕上計画 - 内部仕上表】

内部仕上表

階	室名	床高 (FL)	天井高 (FL)	厚さ mm		下地	
				床	天井		
1F	EVシャフト	-50	2300	60	60	LGS	GB-S t=12.5
	WC	±0	2700		RC	GB-R t=12.5/6L工法	
						LFW-75	
	WC (M)	±0	2700	60	60	LFW-75	GB-S t=12.5/6L工法
						RC	
	WC (W)	±0	2700	60	60	RC	同上
						LFW-75	
	エントランスホール	±0	2700	60	RC	GB-R t=12.5/6L工法	
						LFW-75	
						EPC	
					RC	GB-R t=12.5/6L工法	
	ホール	±0	2700	60	RC	GB-R t=12.5/6L工法	
					LFW-75		
					RC	GB-R t=12.5/6L工法	
	階段室	±0	2700	60	60	RC	
	休憩室	±0	2700	同上	60	LGS	GB-R t=12.5
						RC	GB-R t=12.5/6L工法

【図面作成・GLOOBE シート：内部仕上表】

- 異なる厚みの壁が同じ種別である場合、壁種別でまとめて表記できるようにしました。

主体層の厚さを表記しない設定で、壁の種別が同じで下地厚・仕上厚が同じ場合は、GLOOBE2024では「同上」と表記していましたが、GLOOBE2025ではまとめて表記するように対応しました。



【主体層の厚さを表記しない設定】

GLOOBE2024

壁		
	下地	仕上
RC	GB-R t=12.5/GL工法 t=17.5	ビニルクロス
RC	同上	同上
RC	同上	同上
RC	同上	同上

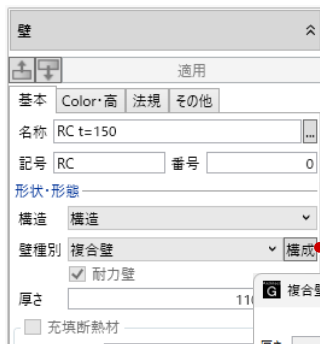
【従来のバージョン】

壁		
	下地	仕上
RC	GB-R t=12.5/GL工法 t=17.5	ビニルクロス

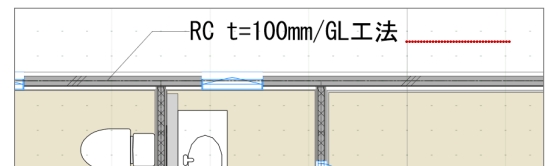
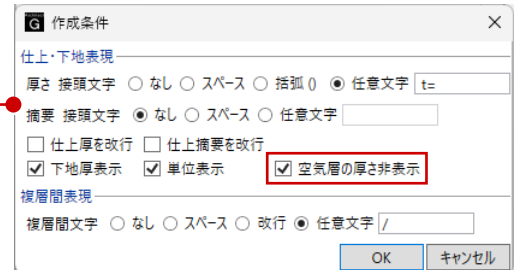
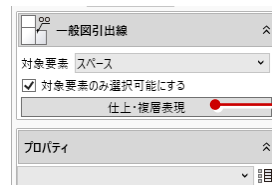
【GLOOBE 2025】

- 空気層を省略できるようにしました。

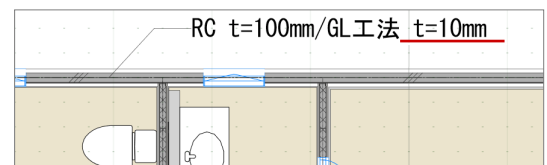
「専用設計ツール」の「一般図引出線」[詳細図引出線]の「作成条件」で「空気層の厚さ非表示」の設定が追加されました。



複合壁で
空気層を設定



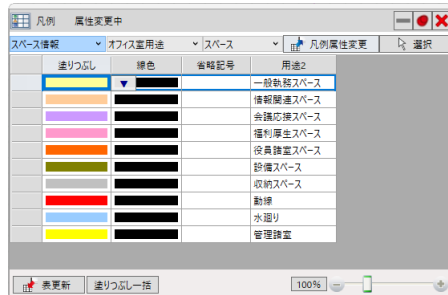
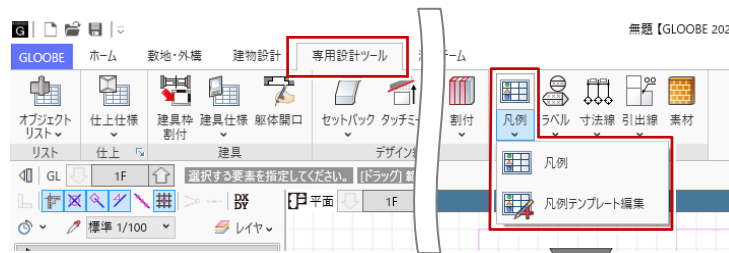
【ON : 厚さ表記なし】



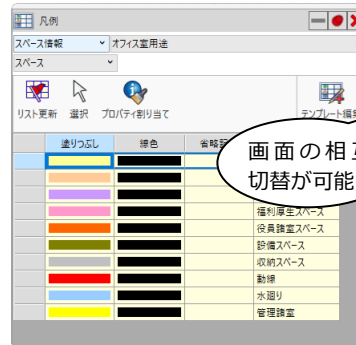
【OFF : 厚さ表記あり】

凡例

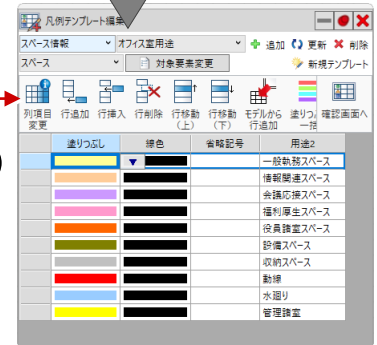
凡例の設定、凡例テンプレートの編集がしやすくなるように画面を見直しました。
凡例機能を便利にお使いいただけます。



【2024】



【2025：凡例】



【2025：凡例テンプレート編集】

レベルチェック

「レベルチェック」コマンドで、上フカシ・上増し打ちの色分けに対応しました。

